



ミルちゃん

『どえーな予算のあと？』

◎平成 25 年度 一般会計 (当初予算)

新規事業等

1 合併記念式典 692万4千円

平成26年3月1日に合併10周年記念式典を開催し、併せて記念誌を発行。

2 離島交流事業 3,650万円

元プロ野球選手の村田兆治氏提唱の「離島甲子園」としても名高い、全国離島交流中学生野球大会を壱岐で開催。



「全国離島交流中学生野球大会」
壱岐開催は8月19日～23日の予定

3 地域おこし協力隊事業 1,876万円

地域づくりに意欲的な隊員を大都市圏から募集し、本市観光情報の発信、地産地消の推進、商品デザイン等を立案し、地域資源の掘り起こしや新たなアピール方法を実施するなど地域力の維持・強化を図る。(4名募集3年間の活動予定)

4 健康管理システム整備 1,820万円

がん検診、予防接種、母子保健事業等の健康管理システムを導入し、データを一元的に管理し、市民の健康に関するデータ分析等が可能となり効果的な健康づくりを推進する。

5 旧廃棄物処理施設解体と跡地活用 1億7,250万円

石田町環境美化リサイクルセンターの解体事業と、郷ノ浦、勝本焼却場跡地の公園整備をする。

6 地産地消推進対策 650万円

焼酎の原料となる大麦の安定生産・供給を図るため、大麦生産に対する奨励補助金を交付する。(10aあたり5,000円)

7 壱岐市食材まつり(仮称) 100万円

豊かな壱岐の食材を活用した大衆料理や名物料理の認知度の向上を図り壱岐製品の消費拡大につなげる。

8 住宅リフォーム支援 2,000万円

市内の建設業者に発注の、30万円以上の住宅リフォームに対し支援する。(補助率1/10、上限20万円)

9 老朽危険家屋除去支援 250万円

老朽化し危険な空き家の解体に、工事費用の一部を補助し安全安心な住環境づくりを促進。

10 旧郷ノ浦給食センター解体 1,436万4千円

旧郷ノ浦町給食センターを解体し、跡地は柳田保育所の園庭として利用する。

11 しま共通地域通貨発行事業 1億6,040万円

長崎県の離島の共通プレミアム付き商品券「しまとく通貨」の市の負担金。



この幟旗のお店で「しまとく通貨」が使える

12 景観計画策定の業務委託 800万円

まちづくりの方向性として「自然を活かした環境にやさしいまちづくり」の実現を推進するため、景観づくりの面から計画を策定する。

のあると？

13 消防庁舎建設 4億6,698万円

消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建、延面積1,481㎡）を現庁舎東側に建設する。

14 消防庁舎建設に伴う整備 7億4,130万円

- ・消防救急無線デジタル化 5億2,749万円
- ・消防指令台（現指令台の更新整備） 2億287万円
- ・消防・防災設備移設工事 1,094万円



新消防庁舎建設地（現消防本部裏側駐車場）

◎平成24年度 一般会計（補正予算8号）

1 過疎集落等自立再生緊急対策 2,097万5千円

吉岐柚子生産組合に、那賀地区6次産業化推進事業としてブランド化推進事業と加工場整備事業に補助。

2 地域経済循環創造事業 1,870万円

吉岐ビジョン(株)に、吉岐の恵み通販事業としての設備投資等の補助。

3 道路改良費 1億90万円

国の補正予算による、幹線道路の点検、舗装補修へ予算追加。

4 小学校耐震補強等改修 1億4,601万4千円

盈科、勝本、霞翠小学校体育館の耐震改修工事。

5 中学校耐震補強等改修 9,635万6千円

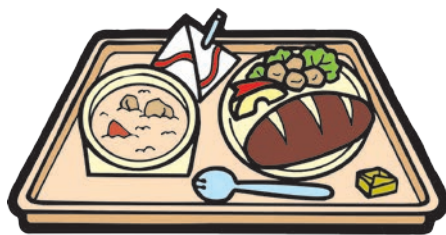
勝本中学校体育館の耐震改修工事。



『学校給食費』

平成25年2月会議の予算特別委員会において、新年度予算を審査した中で市の予算としては計上されていない学校給食費について議論が集中した。

平成23年度学校給食費総額	7,922万8千円
// 滞納額	118万8千円
平成22年度（H23.3月）までの滞納額	720万8千円
小学校給食費（1ヶ月分）	3,600円
中学校給食費（1ヶ月分）	4,200円
市内小学校児童数（H25.4月現在）	1,625人
市内中学校生徒数（H25.4月現在）	886人
その他（教職員等）	396人



- Q** 市の予算として計上される部分は、給食センターの総合的な経費として、施設管理費、設備、運営費等であり、給食費と呼ぶものは食材費のみを保護者に負担してもらうもの。学校給食事業費全体を把握するためにも、これを市の歳入として計上すべきではないか。
- A** 食材費は、受益者たる児童、生徒、教職員等々が負担するものであり、一般財源からは明確に切り離すべき。
- Q** 現状では公金扱いでなく雑務金という、市予算とは別枠のものとなっている。しかし学校用務給食会に補助金を出している以上、市監査委員の指摘事項にもあるように、徴収等には行政が関与すべきではないか。
- A** 公金となると収納率が低くなると考えられる。しかし関東には公金として取り扱っている行政区もあるようで、財務規律の面からも勉強したい。
- Q** 学校現場では非常事態にきており、対策として、保護者が提出する給食の申込を学期ごと、もしくは学年ごとに細かく支払意識をもたせること。滞納者にはこども手当からの天引き等は出来ないか。
- A** この問題について教育委員会と協議を進めていきたい。